

## 中野市行政改革推進委員会 会議録

|          |   |
|----------|---|
| 審議会等の名称  | 中野市行政改革推進委員会  |
| 担当課（連絡先） | 政策情報課 行政管理係 電話 22-2111 内線 401   |
| 開催日時     | 平成 20 年 2 月 25 日（月） 午前 10 時 00 分～午前 10 時 35 分   |
| 開催場所     | 長野県中野勤労者福祉センター  |
| 出席者      | 滝沢忠会長、関きよ子副会長、柴本貞夫委員、西川詔男委員、竹内喜宜委員、丸谷弘幸委員、北川正一委員、小橋要委員、小野すみ江委員、小林貫男委員、山田良子委員  |
| 出席者（市側）  | 青木 市長、本山 教育長、栗原 総務部長、高木 健康福祉部長、高野 子ども部長、本藤 くらしと文化部長、柴草 経済部長、橋本 建設水道部長、上野 消防部長、丸山 豊田支所長、豊田 会計管理者、小林 教育次長、横田 議会事務局長、小古井 政策情報課長、斉藤 政策情報課長補佐、宮本 行政管理係長、滝澤 主事  |
| 会議資料     | 中野市行政改革大綱 実行計画（集中改革プラン）取組状況及び今後の見直し（案）  |
| 協議事項     | 行政改革大綱実行計画（集中改革プラン）取組状況及び今後の見直し（案）の承認について   |
| 会議内容     | <p>○ 行政改革大綱実行計画（集中改革プラン）取組状況及び今後の見直し（案）の承認について</p> <p>委員：【No.4】にあるホームページは確かに見やすくなっているが、審議会情報が充実していない。行革推進委員会などは掲載すべき会議だと思う。また、情報を速やかに流すのは必要で、人員を削減して公開が遅くなったりするのはサービス低下であり、批判が挙がるのでは。検討を。</p> <p>総務部長：行革推進委員会の情報については至急掲載させていただく。</p> <p>委員：【No.17】、【No.23】にあるように、市民による基盤整備は推進していただきたいが、道路維持管理が一元化されれば、こちらについても材料支給となるか。</p> <p>建設水道部長：今、道路河川課では材料の支給を、農政課では補助金という形で進めている。協議中だが、一元化され市道として管理することとなれば材料支給という方向に向かうと考えている。</p> <p>総務部長：No.17 はパートナーシップ、No.106 は財政運営という切り口である。</p> <p>委員：【No.47】の人事評価制度は平成 20 年度から実施とある。評価される側から不服も出ると思うが、どう考えるか。</p> <p>総務部長：不服申し立ての委員会を設置している。</p> |

|      |  |
|------|--|
| 会議内容 | <p>建設水道部長：【No.56】について、先日、委員から 17 年度決算額と 18 年度決算額とを比べ、決算額が 400 万減の理由について質問があった。滞納者の増と答えたが、追加説明したい。</p> <p>通常、16 年度の決算については 17 年度の 4 月 5 月に入った収入も 16 年度の収入とするが、平成 17 年度は合併の年であり、打ち切り決算をした。そのため、本来 16 年度になるべき収入が 17 年度に入っているのも一因である。</p> <p>委員：【No.70】にある遊休資産について、住民からすれば、市有地がどこにあるかわからない。公表することについて研究を進めるということだが、具体的には。</p> <p>総務部長：広報なかのについては紙面の制約もあるため、まずホームページの中で公表をしていきたい。</p> <p>委員：【No.109】にある情報基盤整備について、プロバイダが 1 社ということである。プロバイダを替えるとメールアドレスの変更が生じる。市税を投入しているので、出来る限り広く光ファイバ網を利用できるようにしてもらいたい。</p> <p>総務部長：同様の意見を市民から頂いている。複数のプロバイダの相乗りについては強くお願いしているが、今後も働きかけをする。</p> <p>委員：住民参加の時代になった。行革の必要性については納得している。地域住民とのギャップはまだある。住民行為をどういう方向にするのか、考え方を聞きたい。</p> <p>総務部長：ひとつには情報公開がある。出前ザ集会等、あらゆる機会を通じて市民の皆様に訴え、ご協力をいただきたい。</p> <p>委員：プランを実行するにあたり、市長はじめ職員には心身ともに健康に留意され、財政健全化を意識しながら、行政に携わっていただきたい。</p> |
|------|--|